CareerCross

Synspective

Solution Sales

Job Information

Hiring Company
株式会社Synspective

Job ID
1454697

Industry
Other (Infrastructure)

Job Type
Permanent Full-time

Location
Tokyo - 23 Wards, Koto-ku

Salary
Negotiable, based on experience ~ 8 million yen

Refreshed
May 7th, 2024 10:01

General Requirements

Minimum Experience Level
Over 6 years

Career Level
Mid Career

Minimum English Level
Business Level

Minimum Japanese Level
Native

Minimum Education Level
Bachelor's Degree

Visa Status
Permission to work in Japan required

Job Description

★アピールポイント

- 政府機関や企業にSARデータを提供
- 2030年までに世界中を数時間頻度で観測可能な30基の衛星打ち上げを予定

■募集要項
ソリューションのセールス担当者を募集いたします。

新たな価値を創造しソリューションとして提供するため、単なる完成品の売り込みではなく、顧客・業界構造を分析し、どうすれば顧客に最大の価値を提供できるか試行錯誤しながらソリューションを市場に浸透していく、事業開発的な経験もできるポジションです。

■主な業務内容

- 衛星データとデータサイエンスを組み合わせた分析ソリューションに関わる新規顧客開拓：自治体・入札案件、国内大手企業。
- 顧客課題を理解しながら、解決策を仮説提案し、案件形成を行うプロジェクトマネジメント型営業。
- テクノロジーを理解し、製品・サービスの魅力を新たに創出するための提案業務。

■会社概要
当社は衛星を自社開発・製造し、観測データの取得・販売に加え、データを解析したソリューションの提供を行っている宇宙ベンチャー企業です。

内閣府の革新的研究開発プログラムで研究開発された小型SAR（合成開口レーダー）衛星開発の成果をコア技術とし、当社のミッションである、「衛星データを含む様々なデータ解析提供し、データドリブンの意思決定やリスク管理を支え促進することで、「学習する社会」を実現し、持続可能で発展し続ける社会を創造するため、2018年に創業しました。

2020年に初号機α、2022年に2号機βの打ち上げに成功しました。

2022年3月末にはシリーズBラウンドで累計200億を超える資金調達を行い量産体制が整い、2030年までに世界中を数時間頻度で観測可能な30基の衛星打ち上げを予定しております。

この衛星データを広く社会実装するために様々なソリューションを開発中して提供予定です。既に地盤変動モニタリング・浸水被害モニタリングの2つのサービスを正式ローンチし、政府自治体、建設コンサル、電力・保険業界などに対してソリューションの提供を開始しております。

Required Skills

■必須要件

- IT業界での、５年以上のコンサルティング、またはソリューション提案営業
- 商談発掘～クロージングまでの担当経験
- 新しいテクノロジーを学ぶ意欲が大いにある方
- 積極的に社内社外でコミュニケーションをし、自主性を持って物事を推進する方
- ネイティブレベルの日本語力（官庁/自治体対応・書類類提出あり）

■歓迎

- 従来の戦略営業だけではなく、デジタルを活用した営業活動・戦略の知識
- 無形商材（新テクノロジーソリューション等）のセールス経験
- 顧客案件にかかわる具体的な成約実績
- データ分析・資料作成能力
- 官庁/自治体との折衝・調整・入札案件の対応経験
- ビジネスレベルの英語力　もしくはベーシック英語力と今後学ぶ意欲
- インフラ/建設/土木/地理空間/位置情報サービス/データ・分析業界での経験
- パートナー企業との折衝・調整・契約経験

■求める人物像

・当社ミッションに共感いただける方
・オープンなディスカッションを積極的にできる方
・結果重視のマインドセットをもっていること
・新しいことを学ぶ、チャレンジするという強い成長意欲と実践できる柔軟性を持った方
・失敗を恐れず、そこから学び改善する力を持った方

■手当/福利厚生

・福利厚生: 通勤交通費，社会保険完備, 健康診断（年1回）
・服装自由，フレックス制度，ポジションによっては、リモートワーク可
・副業可

Company Description

誰もが手にできる衛星データでの新たな視点
最先端のテクノロジーと分析、そして直感的にわかりやすいUI/UXで、 衛星データをビジネスにご活用いただけます。

Mission：Synthetic Data for Perspective

Vision：Efficient, accountable and resilient world

私たちの提供するサービス
私たちSynspectiveでは、お客さまの事業に最も適した形は何かを探り、衛星データとお客さまの持つデータの組み合わせを行い、シナジーやメリットが見込める衛星データソリューションを提供・共同開発しています。
Synspectiveでは、サブスクリプション型サービスとしてウェブ上でご提供する”Solutions（ソリューション）”、β版プロダクトをご利用いただく”β Solutions（ベータ・ソリューション）”をご用意しています。

Solution lineup

- **Land displacement monitoring**

衛星データを用いて広域の地盤変動を解析し、その結果を提供するソリューションサービスです。当社独自のInSAR*解析技術により、広域な地表面の変動量をｍｍ単位で検出し時系列で表示します。
*InSAR - Interferometric SAR（干渉SAR）の略。高精度で土地の変位を検出するSARデータ特有の処理技術の一つ。

β Solution lineup

- **Facilities monitoring**

施設における稼働状況の異常検知を行うモニタリングサービスです。いくつかのタイプの衛星データを組み合わせ、選択された施設の活動、もしくは異常についてモニタリングを行います。

- **Instant flood damage analysis**

災害リスク軽減のための水域検出サービスです。光学衛星では撮影できない曇りや雨天下でも、SAR衛星では地上の状況把握が可能です。

- **Solar potential area mapping**

太陽光発電、屋上太陽光発電に適した場所を見つけることができるサービスです。

Synspectiveの開発する小型SAR衛星『StriX（ストリクス）』
私たちのSAR衛星は、政府が主導する革新的研究開発推進プログラム「ImPACT」*1の成果を応用した独自の小型SAR衛星です。

SARとは“Synthetic Aperture Radar”の略語で、日本語では「合成開口レーダー」と呼ばれる技術です。SAR衛星の特徴は、電波の一種であるマイクロ波を使って地表面を観測することです。
地球上の多くは、通常の地球観測衛星に搭載されているカメラでは撮像できない、雲で覆われている領域だったり、太陽光が当たらない夜間だったりします。しかし、マイクロ波は波長が長く、雲を透過するため、雲の下にある地表面も観測することができます。また自ら発した電波の反射を観測するため、日中・夜間によらず観測可能です。つまり、地表面を「いつでも、どこでも」観測する能力を有します。

私たちの小型SAR衛星『StriX（ストリクス）』の重量は従来の大型SAR衛星の約1/10である100kg級で、長さ5メートルのSARアンテナが打ち上げ時には格納されており、軌道上で展開します。地上分解能は1～3mで観測幅は10～30km、単偏波（VV）データを取得します。観測モードは、ストリップマップモードとスライディングスポットライトモードの二つがあります。
コスト面においては、開発と打ち上げ費用を合わせ、従来の大型SAR衛星と比較して約1/20を実現しています。

従来の大型SAR衛星と同等に近い性能をもったまま、小型・軽量による低価格化をはかることで多数基生産が可能となります。この小型SAR衛星「StriX」を継続的に軌道上に打ち上げ、広範囲、高頻度の地表面観測を可能にするコンステレーション（衛星群）を構築・運用します。
*1 ImPACTとは・・・日本政府が主導した、科学技術イノベーションの創出を目指し、ハイリスク・ハイインパクトな研究開発を推進することを目的として創設されたプログラム。

- **データ・ソリューション提供のための衛星開発**

私たちSynspectiveでは、衛星を開発しデータを提供するだけではなく、その後の社会実装のため、衛星開発チームとデータソリューションチームが単一の組織に属しています。
衛星開発チームは、従来の宇宙産業、拡大する小型衛星業界、多数基生産に資する製造業からの経験豊富なメンバー、アドバイザーを揃えています。一方でクライアントと対峙するソリューションチームも機械学習によるデータ解析技術やリモートセンシング技術を持つ経験豊富なメンバーが所属しています。チームを横断し日々議論することで、業種や分野ごとに異なるお客様のニーズを反映させた衛星設計、開発を短期に実現します。

- **社会のニーズに応える、グローバル観測システム**

Synspectiveの描く未来の衛星コンステレーションでは、半日ごとに世界の経済活動の変化を検知することや、3時間以内に災害の被害状況を把握することを実現します。
第1世代の衛星は、2020年と2021年に打ち上げられる2つの実証衛星『StriX-α（ストリクス・アルファ）』と『StriX-β（ストリクス・ベータ）』です。
第2世代では、商用データ収集に使用する4基の衛星の打ち上げを予定しています。第1世代衛星の経験から得られた新たな情報やユーザーニーズをより反映させ、量産化に対応します。第1世代と合わせ合計６基のコンステレーションによりアジアの主要都市の日次ベースでの観測を実現します。
第3世代の衛星は、第2世代を更に進化させ、30基に向けた生産体制を実現し、世界の大都市の日次ベースでの観測を達成します。